

漢文句法「抑揚」確認テスト（況～乎） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1 かつ。「且」は抑揚で「～すら(且つ)」と読み、軽い例を提示する。

問2 いはんや。「況」は「いはんや～をや」と読み、重い例を強調する。

問3 死馬すら且つ之を買ふ、況んや生ける者をや。

問4 死んだ馬でさえ（高く）買うのだ、まして生きている馬は言うまでもない（=もっと高く買うはずだ）。

問5 抑（軽）＝死馬（死せる馬）／揚（重）＝生者（生ける者）。死んだ馬を軽い側に置き、生きた馬を重い側として強調している。

問6 なほ。「尚」も「且」と同様、抑（軽い側）を受けて「～すら尚ほ」と読む。

問7 庸人すら尚ほ之を羞づ、況んや将相に於いてをや。

問8 乎。文末の「乎」が「いはんや」と呼応して「をや」の「や」を表す。

問9 庶民どうしの交わりでさえ互いに欺かないのに、まして大国（どうしの約束）は言うまでもない（=なおさら欺くべきではない）。

問10 死ぬことでさえ避けない（避けようとしな）。「死すら且つ避けず」の現代語訳。

問11 なほ。「猶」は「尚」と同じく「なほ」と読み、抑の副詞。

問12 抑（軽）＝一飯之徳（わずか一膳の食事の恩）／揚（重）＝大恩。小さな恩を軽い側に置き、大きな恩を重い側として強調している。

問13 禽獸すら猶ほ恩を知る、況んや人に於いてをや。

問14 つまらない人間でさえ天を畏れる、まして君子は言うまでもない（=なおさら天を畏れる）。

問15 匹夫すら猶ほ志を奪ふべからず、況んや大丈夫をや。

問16 （例）身分の低い一人の男ですらその志を無理に奪うことはできないのだから、まして立派な大丈夫の志はなおさら奪えない、ということ（=人の志の固さ・尊さを強調している）。

問17 近くの者でさえ知らない、まして遠方の者は言うまでもない（=なおさら知らない）。

問18 や。文末の「乎」は「をや」の「や」にあたり、抑揚・反語の語気を表す。

問19 イ。「抑」は、まず程度の軽い・小さい事柄を挙げておさえること。

問20 ア。「揚」は、前に挙げた軽い事柄を受けて、より重い事柄を強調すること。

問21 ⑤・⑥・⑧。抑の語に「猶（なほ）」を用いているのはこの三つ（①⑦⑩は「且」、②③⑨は「尚」）。

問22 (例) 軽い事柄でさえそうなのだから、それより重い事柄は当然そうであると、対比によって後の重い内容を一層強く印象づけるため。